

防災情報・意思決定Gワーキング結果

平成28年4月27日

第4回 石狩川 滝川地区水害タイムライン検討会

防災情報・意思決定Gワーキング開催の経緯

防災情報・意思決定グループの動きは、他のグループの動きにも大きな影響を与えることから、他のグループに先駆けて行動細目の順番や開始タイミング詰めておく必要がある。



防災情報・意思決定Gワーキングを3月24日に開催し、タイムラインレベルの確定、発災後の行動細目の抽出などを行い、タイムライン一次案に結果を反映した。

タイムラインレベル（防災行動段階）とは

タイムラインレベル（防災行動段階）とは：
「防災体制を移行するタイミング」

【フェーズとの違い】

フェーズは「台風発生」や「はん濫注意情報」などの気象や水位等の事象から決まる時間の区切りである。

関係機関が効率よく連携して防災行動を行うためには、一斉に防災体制を切り替える必要がある。このように連携して防災対応を行うための段階をタイムラインレベルという。このレベルがあることで、円滑な防災行動を実行することができる。

タイムラインレベル設定におけるポイント

- 「先を見越した防災行動」を行うための意思決定の開始タイミング（タイムラインレベル）を設定する。
- タイムラインレベルの設定基準を検討・整理する。
※河川水位、防災情報、避難情報等が設定基準の候補となる。
- 防災行動段階をグループ内で共有し、統一する。
※タイムラインの主演となる滝川市が動きやすいレベル設定を目指す。

設定したタイムラインレベル

防災情報・意思決定Gでは別途ワーキングを行い、以下のようにタイムラインレベルを設定した(詳細は参考資料を参照)。

目安時間	フェーズ	タイムラインレベル		
		タイムラインレベル	トリガー	主な防災行動
-73H	【フェーズ1】 南鳥島の沖で台風が発生し、北海道に近づくことが気象情報で発表される	レベル1(立ち上げ)	大雨に関する説明会	防災体制の構築 情報の収集
-72H				
-51H	【フェーズ2】 前線や低気圧が停滞し、滝川市付近で局地的な大雨が発生する。市内で内水はん濫が発生する。	レベル2(準備(内水))	大雨警報発表 or 累加雨量100mm以上	情報の収集 情報の伝達 災害対策本部の設置 避難勧告の発令(内水はん濫)
-52H				
-33H	【フェーズ3】 本州周辺に台風が上陸し、北海道に接近する。石狩川流域の広い範囲で豪雨が発生する。	レベル3(早期警戒(外水))	水防団待機水位を超過	自主避難の呼び掛け 水防団に待機の連絡
-14H				
-12H	【フェーズ4】 石狩川の水位が上昇し、はん濫危険水位を超える。石狩川で堤防が決壊の恐れ	レベル4(行動)	3時間後の予測水位が 避難判断水位を超過	避難準備情報の発表
-10H				
-6H				
0H	【フェーズ5】 堤防決壊により市内全域で浸水被害が拡大する	レベル5(緊急対応)	はん濫危険水位を超過	避難勧告の発令(外水はん濫) 災害対策本部の移設 職員の撤退
17H	【フェーズ6】 浸水深が最大となり、次第に小さくなっていく。新たな被害発生はなくなり、浸水域は縮小していく			